



上川井だより

6月号

平成30年 5月31日
横浜市立上川井小学校
校長 山田 アイ子

祝 独立50周年記念 上小オリンピック

副校長 佐々木 和美

上川井小学校に副校長として着任し早二カ月が過ぎました。初めて訪れた上川井小学校は、桜が満開で色鮮やかな花々が咲き誇っていました。小高い丘を登ると見えてきた白い校舎。「大変美しい学校」という印象でした。また、登校してきた子どもたちが明るくはつらつと、元気に挨拶をしてくれたとき、俄然やる気になったのを覚えています。

さてご存じの通り、今年度本校は独立50周年を迎えています。そこで今年度の上小オリンピックは「祝 独立50周年記念 上小オリンピック」と銘打ち、本校の独立50周年が、子どもたちや職員、保護者や地域の方々にもより意識できるようにとの思いを込めました。子どもたちや職員が一丸となって、独立50周年にちなんだ挨拶や競技・演技におけるアイデアを提案し、実現しようと一生懸命でした。26日（土）当日には、大勢の保護者や地域の方々にお越しいただき、たくさんの拍手と応援や称賛の言葉をいただきましたことが、子どもたちの大きな励みとなりました。

本番に至るまでに、子どもたち一人一人にドラマがありました。友達と協力し切磋琢磨し合う中で、仲間との一体感や充実感をもつことができました。反面、思い通りにいかなかったことや友達との考えの相違で悩んだことなど、よいことばかりとは言えない面もありました。しかし、子どもたちは、高い（困難な問題）低い（容易な問題）いろいろですが、その一つ一つのハードルをためらいながら、あるいは思い切りよく跳び越えて、心身ともに確実に成長してきました。どんなに頑張っても跳び越えることができないハードルは、時を要し再チャレンジする必要がありますが、少し背伸びをすればなんとかなるものならば、是非挑んでもらいたいと思います。それが、個々の成長に繋がるからです。私はこの記念すべき、独立50周年の年に開催された「上小オリンピック」において、子どもたち一人一人の輝きが、職員、保護者、地域の方々に波及し、上川井小みんなの輝きになったと実感しています。

また上川井のまちには、本校のためにご尽力くださる地域の方々がたくさんいらっしゃいます。子どもたちの安心安全を見守ってくださる方々、池の管理・掃除をしてくださる方々、木の剪定をしてくださる方、読み聞かせや書写指導、また図工や総合的な学習の時間等で使用する地域の材を提供してくださる方、そして上小オリンピックでは、暑い中練習から本番までご指導いただいた婦人会の方や率先してテント等の後片付けを行ってくださったおやじの会の皆様……。私が上川井小に着任してから二カ月ですが、子どもたちのために力を惜しまずご協力くださるたくさんの方々にお会いしました。これほどまでに地域の方々に守られ、大切にされている本校の子どもたちは幸せだと感じています。

「祝 独立50周年記念 上小オリンピック」を、スローガンとして掲げた「楽しさ100%～一人一人のかがやきで～」の通りに終えることができましたのも、保護者の方々や地域の皆様のご協力あつてのことです。この独立50周年にあたる上川井小学校に、副校長として着任させていただきましたこと、ご縁があったのだと嬉しく思っています。私は、副校長として、学校、保護者、上川井の地域の方々のハブ（接続の役目）を担い、本校がより一層「笑顔溢れる」学校となるために精進してまいります。どうぞよろしく申し上げます。